

2018年 8月22日

「平成30年7月豪雨」について【談話】

サービス・ツーリズム産業労働組合連合会
事務局長 千葉 崇

「平成30年7月豪雨」による、人的・物的被害は全国の広範囲に及んでおり、8月21日現在で221名の犠牲者、行方不明者9名、住宅被害48,827棟、避難者数2,167名となっており、甚大な被害をもたらしています。

サービス連合の加盟組合からの報告によると、組合員のご家族が犠牲となり、家屋への土砂流入、床上・床下浸水などの家屋被災、避難所や実家・親類宅への避難を余儀なくされた方がいることが判明しました。また、鉄道の運休や道路の通行止めなど交通経路の遮断により、通勤困難に見舞われた組合員もいることがわかりました。

お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げるとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

今般の災害については、復興にむけた長期的な支援も必要になると考えられることから、7月18日に開催された中央執行委員会において、「平成30年7月豪雨 支援カンパ」の実施を確認し、8月17日に第一次集約を行ったところです。お寄せいただいたカンパについては、被災された方々への支えとなるよう、連合本部および日本赤十字社本部に寄付させていただきます。

また、今般の豪雨災害の影響は、ツアーや宿泊予約のキャンセルなど、企業活動にも広がりました。さらには、訪日外国人旅行者に適切な情報が提供されず、避難が出来ない等、訪日外国人旅行者への対応として不十分な社会基盤であることも露呈されました。サービス連合として、風評被害の防止にむけた対策や、防災・危機管理への着実な対応などの課題解決にむけて、意見反映につとめます。

今後も、働く者の立場から、私たち一人ひとりができることを確実に実行し、復興の力となるよう取り組みを進めていきます。

以 上



サービス・ツーリズム産業労働組合連合会(サービス連合)

〒160-0002 東京都新宿区四谷坂町9-6 坂町Mビル2階

Tel:03-5919-3261 Fax:03-5919-3264 URL:<http://www.net-stu.com>